

## JAPAN SHOP 2024 会場レポート vol.3 (2024/3/14)

JAPAN SHOP 2024 には、店舗設備を充実させたり、販売促進をサポートする製品・機器も多数出展される。ここでは、最新の店舗建材や設備情報をはじめとする新製品や新サービス、またウェルビーイングを高める事例も紹介する。見本市はこれまで知らなかった製品やサービスを知るチャンスでもある。今後のビジネスを発展させるためにも、新しい出会いを探しに行こう。



来場者で賑わう開催3日目の会場

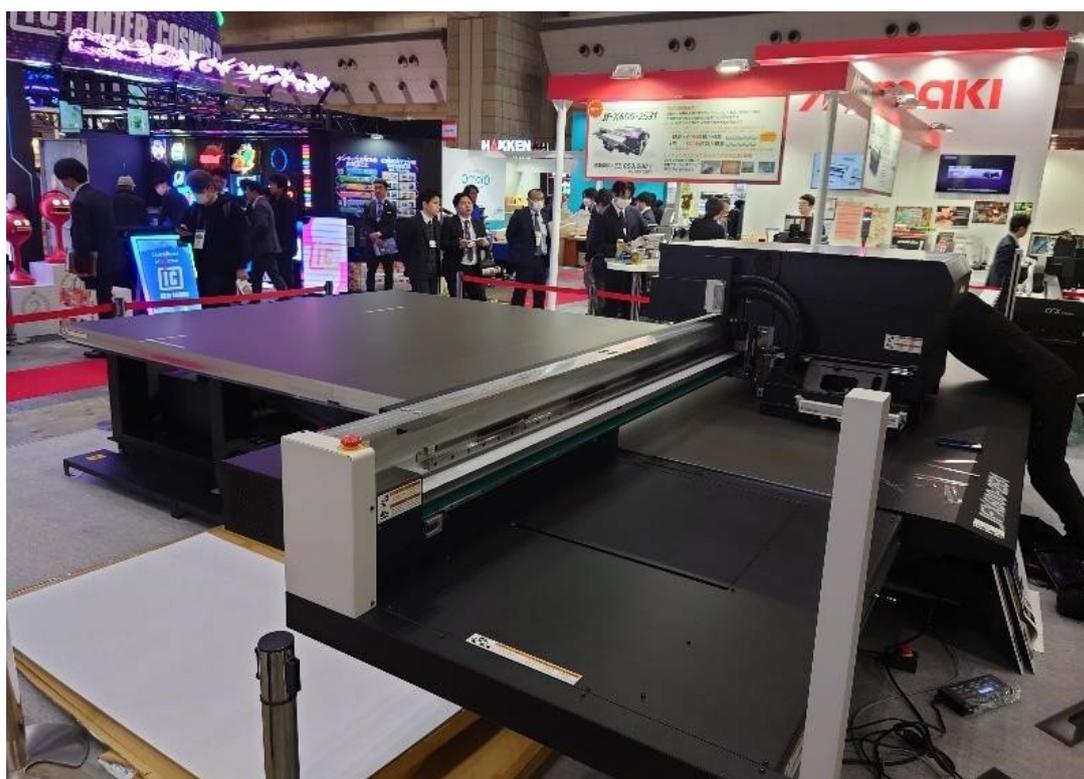
### プラスチックカップにも対応するプリンター

店舗やイベントの装飾、販促ツールの製作はスピードが要求される。そんななかで、産業用インクジェットプリンター、カッティングプロッター、3Dプリンターを手掛ける株式会社ミマキエンジニアリングは、「UJF-6042 MkIIe」と組み合わせることで角度のあるプラスチックカップにも印刷可能なオプション製品「Kebab HS」をラインナップに加えた。勾配角度 7.5 度までのワークに対応するため、印刷の幅を大いに広げている。もうひとつの新製品「JFX600-2531」は従来モデルよりもプリントテーブルを拡大。これによりプリントテーブル手前側で印刷している間に、テーブル奥側のメディアの取り換えが行えるので、印刷停止時間を最小限に抑え、生産効率を大幅に拡大した。FF方式とFR方式の2種類の

方式を採用したトグルプリントを新搭載。最大プリントサイズは 2500×3100mm となっている。



「Kebab HS」を搭載した「UJF-6042 MkIIe」。写真のような角度のついたプラスチックカップに対応し、精緻な模様も複雑な色合いも見事にプリントしてみせる。360度印刷の場合、1時間に6個印刷できる角度は7.5度まで対応



大きなプリントテーブルにより 2500×3100mm まで対応可能。建築用材のガラスやパーテーション、合板など、大きなメディアへも直接、プリントすることが可能



プリントテーブルに乗っているのは A4×15 枚を印刷した用紙  
ここからも大きさが理解できるだろう

### エンボス加工により、表現の自由度を拡大

ローランド ディー.ジー.株式会社はエンボス表現を可能にしたプリンター「Dimensor S」をラインナップに加えた。エンボス加工は色も形も自在で、あらゆるデザインに対応するのが魅力だ。エンボスになる仕組みは、熱を加えると発泡するインクによる。これとカラーインクを組み合わせ、多彩な表現を可能にした。膨らみの高さは1～1.5mm、幅は約1600mmに対応する。模様から写真まで、あらゆることがらを立体的に表現できる、クリエイターの想像がふくらむプリンターだ。もうひとつ紹介したいのが水性レジンインクテクノロジーを搭載した「TrueVIS AP-640」。レジンインクならではの速乾性に加えて、紫外線に強いという特色を持ち、屋外に使用する看板などにも使用できる汎用性の高さが魅力だ。



「Dimensor S」で印刷した壁紙。プリントする素材を変えれば、さらに表現は多彩になる



色彩豊かな表現力に定評のある「TrueVIS」シリーズ。淡い発色も水性レジニインクを使用することで、退色しづらい

## 風とグリーンを体感するアウトドアリビングと 最新イルミネーションの提案

エクステリア・ガーデン用品の株式会社タカショーが提案するアウトドアリビング「5th ROOM」。同ブランドで使用する部材の新製品を紹介しながら、新たな空間を提案する。今回の展示では、和モダンのアートボードをアクセントに、落ち着いた色合いでまとめ、庭の草木との融和を楽しめるデザインを見せている。また関連会社の株式会社タカショーデジテックでは、スペイン・バルセロナのアウトドア照明器具ブランド「Vibia」製品を紹介。屋外照明の概念を覆す、独創的な照明を体感できる。



「五番目の部屋」としてアウトドアリビングを提案



関連会社のタカショーデジタルテックブースの飛翔する鳥のイルミネーション(上)  
スペインの照明ブランド「Vibia」の新製品も紹介。(下)

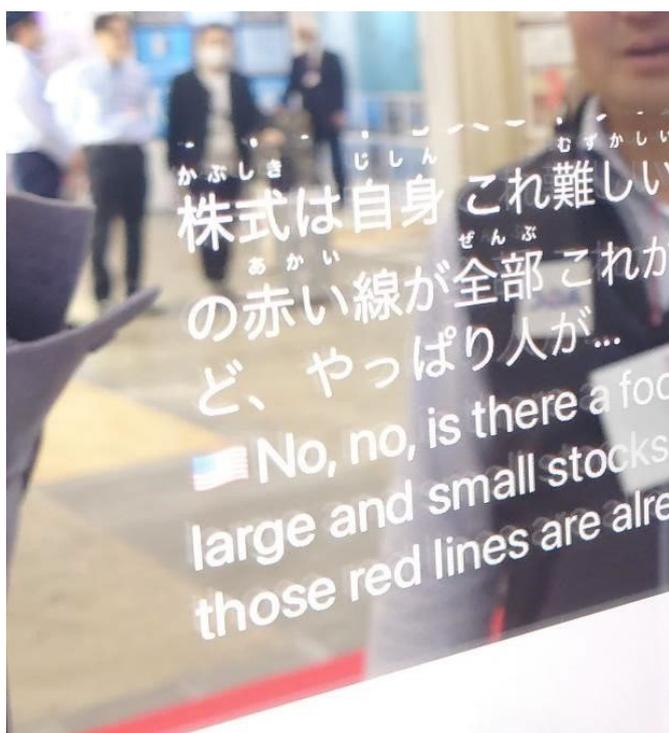


## ガラスの存在を感じさせない新しいガラスの登場

AGC 株式会社は透過と反射をテーマに、ふたつの新製品を紹介する。ひとつは低反射ガラス「Clearsight® II」で、高い透過率を誇る。実際に商品を見てみると、ガラスがないように思えるレベル。カーディーラーやアパレルといった店内の製品をしっかりと見せたい業種のみならず、景色を見せたいカフェやホテルなども興味を示しているという。もうひとつが「Mirroria」で、高い反射性と表示視認性を両立したディスプレイと鏡を一体化させた製品だ。従来のミラー型ディスプレイでは、視認しづらい色や文字があったが、小さな白抜き文字までしっかり読める高性能ぶり。鏡の可能性を広げる製品となっている。



ブースでは「Clearsight® II」と一般的なガラスの透過を比較できる。



「Mirroria」のディスプレイを拡大したところ。ふりがなのような小さな文字までしっかりと判読できるのは驚き

### 店舗設計をワンストップで提案

アイリスオーヤマ株式会社では、照明、什器、防犯カメラ、掃除ロボットなど、店舗設計や経営に必要なソリューションをワンストップで提案する。同社は先に挙げたすべてのアイテムを自社でそろえることができることから、単品で管理する際に生じる業者との細かな打ち合わせを必要とせず、時間と経費の削減にもつなげられる。また同社の防犯カメラはAIによる分析機能を備えており、来店客の性別や年齢、人の流れといったデータを得られるという。ブース内に置かれたアイテムは什器やウエアに至るまで、すべてアイリスオーヤマ製。同社の幅広い製品ラインナップがわかる。



照明は無線による調光機能を備え、明かりによるさまざまな演出が可能。カメラは防犯に加えて、AIによるデータ解析を実施する

## 商業施設を応援する「4歳対応」の新ショッピングカート

コンビウイズ株式会社では今年1月、「Combi エンジェル ワゴン AW5/AW6」を発表した。多くのベビーカーが4歳（48か月）まで乗せられるようになってきたなかで、対応が遅れていたのがショッピングカート。そこで登場したのが生後2か月から4歳までの子どもをフォローする「Combi エンジェル ワゴン AW5/AW6」だ。買い物かごを乗せても安定して操作できるように設計。ポイントは大きな座面で、20mm厚のクッションを内蔵したやわらかいヘッドレストで、乗り心地に配慮する。またカラーリングをホワイトとし、あらゆる施設にも合う色合いとしている。



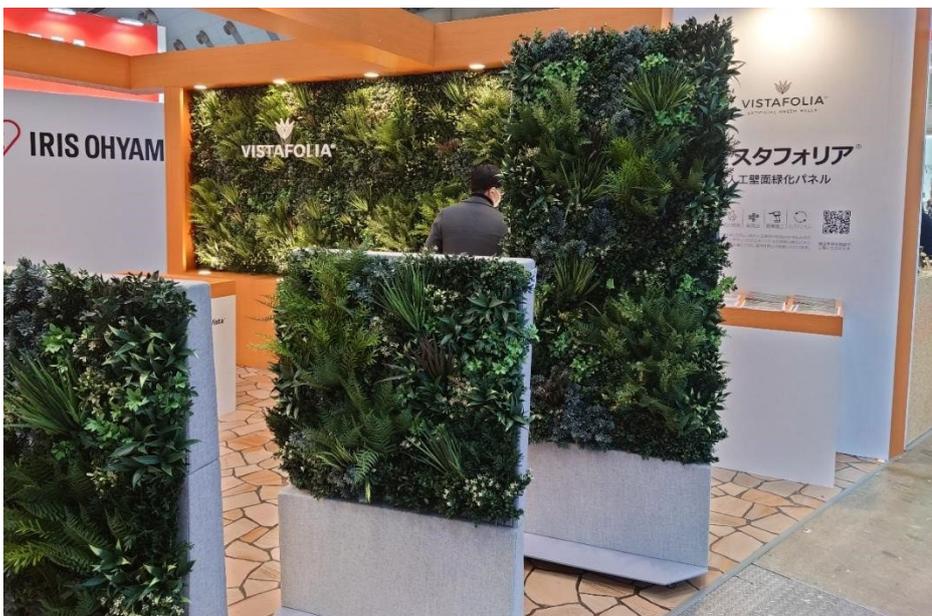
大型商業施設の貸し出し用として開発された「Combi 施設用ベビーカーSC61」（手前黒）も展示



右は「エンジェルワゴン」の旧モデル。リニューアルで座面の大きくなったことが一目でわかる。背面式、対面式を選べる

### ウェルビーイングな空間づくりに最適

緑化資材の輸入と製造販売を行う株式会社グリーンフィールド。今年のブースで紹介されているのはロンドンのデザイナーが生み出した人工壁面緑化パネル「ビスタフォリア®」だ。軽量で取り付けは簡単、メンテナンスも不要で、インテリア・エクステリア問わずに取り入れやすい。またオプションで花を加えることもできるので、アレンジも楽しめる。駅や学校などでも採用され、認知度も高まっている。また5タイプの人工芝を展示。触感や踏み心地の差異を知ってもらうことで、人工芝への興味を促進している。



ロンドン発の人工壁面緑化パネル「ビスタフォリア®」。軽量で、インテリアとしても取り入れやすい。



人工芝の「リアリーターフ」。長さや硬さなど種類も豊富だ

### 初期消火に威力を発揮する高性能消火具

輸入車の取引を手掛ける、株式会社ホワイトハウスはまったく新しいタイプの消火具「ファイヤーショーカースティック」を紹介。片手で持てるサイズで、重さも 365 g という軽さ。固定概念から「これで大丈夫か？」と心配してしまうが、さにあらず。初期消火は火災発生から 2 分間がカギと言われるなかで、100 秒連続噴射が可能で、初期消火に最適なスペックとなっている。しかも噴射後は残留物がないのも特徴のひとつ万が一のきに使用しても掃除がしやすい。15 年間メンテナンスで、店舗に設置するのも特長だ。



100 秒噴射、365 g の「FSS100SEC.」と 50 秒噴射、215 g の「FSS50SEC.」の 2 タイプがラインナップ。イタリア製で、ヨーロッパでは車載用として使われているため高温にも強い。